



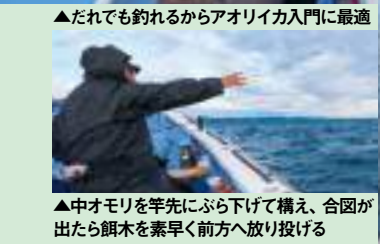
▲重量感あるアオリイカ独特の引きが楽しい

▶鋭いシャクリで誘い続けて800グラム級のアオリイカをキャッチ

▶アベレージは600~800グラム級

◀船中最後に待望の1杯を釣り上げて一安心

▼当日の釣り場は洲ノ崎沖の水深20~30メートル前後



▲だれでも釣れるからアオリイカ入門に最適

▲中オモリを竿先にぶら下げて構え、合図が出たら餌木を素早く前方へ放り投げる



★当日最大となる1キロ級のアオリイカ



▲取り込みはハリスをたくり餌木をつかむ。大型はタモ取りしよう



▲中オモリ10号、ハリス4~6号4メートルが佐衛美丸の基準。餌木はノーマルタイプの3.5~4号を使用

▼竿はアオリ専用のほかゲームロッドなどが向いている

南房洲ノ崎港出船

撮影◎本誌編集部

ドスンと竿が止まる快感

中オモリ餌木シャクリのアオリイカ

南房洲ノ崎沖で乗り活発



餌木カラーの選び方例

餌木は背色と腹色(下地)があり、背色は潮が濁っているときや暗いときはオレンジやピンクなどの明色系、澄んでいるときや明るいときは茶や緑などの暗色系を基準に選ぶといい。

当日は雲が広がり薄暗く、夕方の暗い時間帯も釣りをするので全般にオレンジやピンクの乗りがよかった。

腹色(下地)はマーブル、金、赤の3色が基本で日中はマーブルと金、タマヅメは赤でよく乗った。

※写真は当日のヒット餌木の一部



▲午後船だからタマヅメのチャンスタイムを狙える

中オモリを使い餌木をタナまで沈め、数秒に1回のペースでシャクリ。シャクリ上げた竿がドスンと止められればアオリが乗った証拠。シンプルな釣り方と乗った瞬間の衝撃的な釣趣が餌木シャクリのアオリイカの魅力。

11月から出船を開始している南房洲ノ崎港の佐衛美丸では土日祝日限定乗合でファンを楽しませている。

11日の取材日は、洲ノ崎沖の水深20~30メートル前後を狙いトップ5杯、全員がアオリイカをキャッチできた。今シーズンは数は少ないもののサイズがよく、600~800グラム級が主体で1キロ級も交じった。

餌木は3.5~4号のノーマルタイプ、タックルはアオリイカ専用のほか、ライトゲーム用でも楽しむことができる。(詳細は54ページ参照)



▲指示ダナは海面から餌木までの距離。道糸のマーカで正確に測ろう

◎南房洲ノ崎港・佐衛美丸
早川 忠信船長